

秋移ろいふれあい深め

須磨図書館親子新聞教室で小学生ら

世界で一つだけの新聞ができた!! =須磨区文化センター

コロナ禍超えて待ちわびて

こころに響く自分紙づくり



記者から学んだ伝える楽しさ



発行所

神戸新聞社

神戸市中央区東川崎町 1-5-7

郵便番号 650-8571

神戸新聞NEXT

http://www.kobe-np.co.jp/

無断で複写・転載することを禁じます



もっといっしょに。神戸新聞 地域パートナー宣言

めぐる君号外



購読・試読のお申し込み

0120-16-8349 (9:30 ~ 17:30)



三好記者の指導で写真を貼って、記事を書いて…心合わせ紙面づくりが進む

小学生と保護者が新聞づくりに挑戦する教室が11月20日、神戸市須磨区中島町1の須磨区文化センターであった。小学生ら計4人が、淡路人形座

(南あわじ市)や城崎マリンワールド(豊岡市)に行った思い出をテーマに新聞を作り上げた。

同市立須磨図書館の主催。コロナ禍の影響で8月開催が見送られ、参加者はこの日を待っていた。

神戸新聞NEXT推進部の三好正文シニアアドバイザーが講師を務めた。子どもらは、将棋の藤井聡太新竜王(19)が最年少で四冠を獲得した記事をもとに、「5W1H」がニュースの基本▽結論を先に書く「逆三角形」のスタイル、などを学んだ。

読者の関心と呼ぶ見出しを考えるワークセッションにも挑戦。レイアウトでは、見出し、写真、記事の順に配置を考える原則を教わった。

さあ、新聞づくり。三好アドバイザーは「どう楽しかったのか具体的に書けば、読む人の心に響く新聞ができるよ」と呼びかけた。子どもらは見出しに頭を悩ませ、持参した写真を貼りつけ、記憶をたどって記事を書き、オリジナルの新聞を作り上げた。

神戸新聞社の号外車「めぐる君」が出勤して、教室の様子を伝える特別号外を発行した。